



號 三 第

卷 十 三 第

目 次

ギリシアに於ける歴史學の展開……………文學博士 原 隨 園

本邦古墳出土の同範鏡に就いての……………文學博士 梅 原 末 治

一二の考察……………文學博士 林 屋 辰 三 郎

平安京に於ける受領の生活……………文學博士 那 波 利 貞

晩唐時代の撰述と考察せらるゝ茶に關する……………文學博士 那 波 利 貞

通俗的滑稽文學作品……………文學博士 那 波 利 貞

紹 介

彙 報

會 報 (細目裏面)

會 究 研 學 史

內 部 學 文 學 大 國 帝 都 京

紹介

豊田 (武著) 中世日本商業史の研究(平山)

東方文化研究所編 昭和十五、十六年度東洋史研究文獻類目(梅原)

石田幹之助著 南海に關する支那史料(藤原)

水野清 一編 蒙疆陽高縣漢墓調查略報(梅原)

ロストツツエフ著 坪井・樞 本譯 古代の南露西亞(梅原)

彙報

國史研究室近況、西洋史讀書會、地理學談話會、考古學教室近況

會報

會員動靜

前號目次

明の時代性について

—太祖の統治方針を中心とする—文學士田村實造

建武中興と大燈夢窓兩國師……………文學士篠崎勝

ピロビジャン猶太人植民地

—特にその設立の意義に就いて—文學士岡本信太郎

マニフエスト・デステイニイ

—十九世紀末米國太平洋政策の

一原動力について—文學士今津晃

紹介

彙報

會報

